

不登校生徒に対する支援について

不登校生徒の状況

対象生徒は、登校や教室に入ることによって精神的な負担を感じるようになり、欠席するようになった。生徒や保護者の意向を尊重した個別対応をするために、本人や保護者との面談を基に、現在は特別支援教室、医療機関、フリースクール等の校内外の関係機関と連携を図っている。

具体的な取組

○定期的な面談の実施

担任や学年教員を中心に、定期的に、二者面談や保護者面談を行い、生徒の様子等の情報を収集し、指導に生かしている。

○校内委員会の設置・実施

チーム支援のため、定期的に校内委員会を開催し、支援シートの内容を基に生徒の状況や変化を共有・分析し、SCやSSWによる助言・サポートを受けて、今後の組織的な対応について協議し、対応している。

○特別支援教室、医療機関、フリースクール等との連携

当該生徒は、集団生活への適応や基本的な生活習慣の改善等に向けて、校内では特別支援教室とSC、校外では医療機関とフリースクール等と連携している。生徒や保護者の意向を尊重した個別対応をするために、フリースクールの担当者など関係機関とのこまめな連絡を通じて、生徒の成長、学びの様子を把握し登校への道筋を立てる。

○生徒の居場所づくり（別室支援）

本人の希望を基に、朝や放課後の時差登校・別室登校によりプリントの配布や教科の学習、相談等を行っている。



成果

医療機関・フリースクールを利用していた生徒が校内でのSC面談や特別支援教室の利用、時差登校により登校を継続して行うことができるようになった。また、式典や学校行事にも参加ができ、満足した様子が多く見られるようになった。

課題

- ・本人が希望する進路の実現に向けた支援を行う。
- ・別室登校から教室復帰につながる手だての整備が必要である。